

# 報 告 事 項 1

工科高校における人材育成の重点化について

平成25年 4月19日

## 工科高校における人材育成の重点化について

### 1. 方針

府におけるものづくり教育の活性化に向け、「ものづくり教育コンソーシアム大阪」から示された「ものづくり教育の充実に関する提言」を踏まえ、工科高校9校がそれぞれの持つ強みを生かし、平成26年度より各校の人材育成を重点化する。

### 2. 重点化のタイプ及び対象校

#### (1) 高大連携重点型

工業技術の理論を学ぶ工学系大学進学を視野に入れ、技術と理論を兼ね備えた「将来の高度技術者」の育成に重点を置く。

対象校	所在地
茨木工科高校	茨木市春日
淀川工科高校	大阪市旭区
今宮工科高校	大阪市西成区

#### (具体的な取組)

- 工学系大学進学に対応した新たな「**進学系・専科（仮称）**」を設置する。なお、**定員は、各校における1学年の募集定員のうち40名とし、募集は単独募集とする。**
- 工学系大学への接続を円滑にするために、高校時における数学Ⅲ、物理、英語等のカリキュラムを充実する。
- 進学者をサポートするために、進学決定後の数学、理科、英語等の演習・補習講座を設定する。
- ◇ 取組指標例：特色ある教科・科目の設定、先端分野の学習に係る大学等との学外連携
- ◇ 成果指標例：工学系大学進学者数の増加、指定校推薦枠の増加

#### (2) 実践的スキル養成重点型

高度な職業資格取得をめざし、「高い付加価値を生み出す技術・技能を持つ人材」の育成に重点を置く。

対象校	所在地
西野田工科高校	大阪市福島区
藤井寺工科高校	藤井寺市御舟町
堺工科高校	堺市堺区

(具体的な取組)

- 生徒が習得する技術・技能レベルの目標を明確にし、資格取得を促進する。
- 企業技術者の招聘により精密加工等の高度な技術指導を実施するとともに、学んだ技術・技能を活用して製品を製作する学習プログラムを開発する。
- ◇ 取組指標例：企業ニーズを踏まえた技術力養成及び高度な職業資格の受験促進を図る学習プログラムの開発
- ◇ 成果指標例：資格試験合格者数の増加

(3) 地域産業連携重点型

実習や授業における企業連携をいっそう進め、「ものづくり現場を支えて指導・管理・改善を推進する現場のリーダーとなる人材」の育成に重点を置く。

対象校	所在地
城東工科高校	東大阪市西鴻池町
布施工科高校	東大阪市宝持
佐野工科高校	泉佐野市高松東

(具体的な取組)

- 長期企業実習やインターンシップを積極的に取り入れるとともに、地域産業と連携して商品開発を行うなど、経験から学べる授業を設定する。
- リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション力を育成するため、少人数のグループで課題に取り組みせ、一人一人に発表・発言の機会を与える学習プログラムを開発する。
- ◇ 取組指標例：連携企業数、インターンシップの参加者数
- ◇ 成果指標例：求人数の増加、就職1次内定率の向上

3. 対象校の決定理由

(1) 高大連携重点型

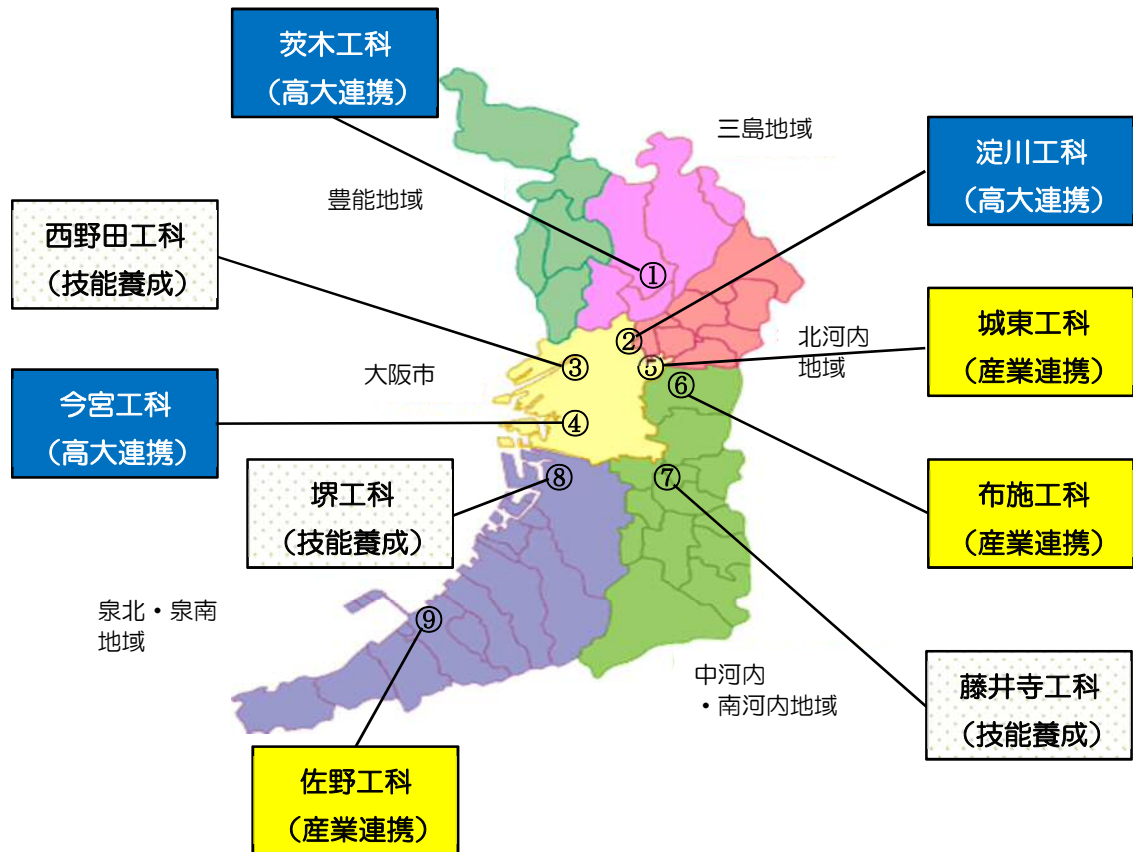
- ・大学進学者数の実績
- ・大学進学に対応した教育課程と校内の指導体制
- ・府内全域から通学可能な配置バランス

(2) 実践的技能養成重点型

- ・資格取得者数の実績
- ・技能コンクール等の実績
- ・外部技術者の積極的な活用

(3) 地域産業連携重点型

- 地域連携の実績
- 「ものづくりの町」に近接する立地条件



4. 今後のスケジュール

平成25年 4月	教育委員会会議 (重点化のタイプ及び対象校の公表)
//	重点化のタイプごとに連絡協議会を設置 ~教育課程等の検討~
6月	進学系・専科 (仮称) に関する入学者選抜方針 発表
10月	各連絡協議会 中間報告 公表
12月	各連絡協議会 まとめ 公表
平成26年2月~3月	平成26年度入学者選抜
3月	大阪府立高等学校等の管理運営に関する規則 改正
4月	進学系・専科 (仮称) 設置 ~1期生入学~

# ものづくり教育コンソーシアム大阪 提言の概要

本コンソーシアムでは、府におけるものづくり教育の活性化に向け、工科高校が育成すべき人材像を明らかにした上で、いま、工科高校が取り組むべきこと、及び、今後の工科高校の取組の方向性について提言としてとりまとめた。

## ➤背景となる状況

- 我が国のものづくり産業は、社会・経済の維持発展にとって重要な役割を将来に亘って担うもの。特に大阪は、ものづくりを基盤として発展し、多くのオンリーワン企業が立地。
- しかし、グローバル化の進展とともに、産業の空洞化が懸念される中、生産現場では、高品質で高精度なものづくりの力が以前にも増して求められており、ものづくりの現場を担う人材の育成が急務。
- 工科高校では、産業基盤を支える技術と技能を持ち、発案や改善提案などを積極的、能動的にできる人材の育成が求められている。

### 提言1 【工科高校が育成すべき人材像】

- ものづくりマインドを持った将来の高度技術者  
工科高校でものづくりの基礎を、大学等で高度な知識、技術を学んで、実技と理論を併せ持ったエンジニアの育成
- 高い付加価値を生み出す技術・技能を持つ人材  
高精度、高品質など高い付加価値を生み出せる、職業資格等に裏付けられた技術、技能を身につけた人材の育成
- ものづくり現場を支えて指導・管理・改善を推進する現場のリーダーになれる人材  
生産現場を監督し、合理化等改善提案ができる実践的スキルと知識を持った人材の育成

### 提言2【教育内容の質の保証】 ～工科高校がいま取り組むべきこと～

- 工学系大学等進学に向けた学力向上と連携大学の確保
  - ・ものづくりマインドの醸成と大学等高等教育機関に接続する教育課程の改善を通して生徒の学力向上を図る。
  - ・高大連携を推進し、大学講座や研究活動に参加体験させる機会を設定。
  - ・指定校推薦入試を含めた大学への進学ルートの開拓
- 生徒が身につける知識、技術及び技能の質の保証
  - ・生徒に習得させる技術・技能レベルを明確にした指導とカリキュラム編成
  - ・教員の資質向上のための技術研修
- 工科高校の職業教育拠点としての機能充実
  - ・時代の変化に即した施設設備の整備
  - ・企業と共同して取り組む商品開発、企業での実習など企業との連携の推進

### 提言3【工科高校の近未来像】 ～人材育成の重点化と学校の個性化を図る～

- (1) 高大連携重点型の工科高校  
「ものづくりマインドを持った高度技術者」の育成を目標に、工学系大学等への進学を視野に入れた系・専科を設置（平成26年度に設置を計画）し、高大連携を推進するなどエンジニアの育成をめざす教育に重点を置く。
- (2) 実践的スキル養成重点型の工科高校  
「高い付加価値を生み出す技術・技能を持つ人材」の育成を目標に、国家技能検定など習得させる技術・技能レベルを明確にするとともに、取得した資格を活かすことができる技術者を育成する教育に重点を置く。
- (3) 地域産業連携重点型の工科高校  
「ものづくり現場を支えて指導・管理・改善を推進する現場のリーダーになれる人材」の育成を目標に、企業との実習、授業での連携を重視し、それらの経験から身につけた技術・技能を活かす技術者を育成する教育に重点を置く。